

災害への備え、被災時の地域協力を考える内郷の会

あんしん内郷

第 9 号 (2025 年 5 月)

発行: 内郷地区社会福祉協議会

Tel/Fax: 043-486-5690

e メール: uts@catv296.ne.jp

Instagram: uchigou_bousai



あんしん内郷
Instagram

災害時の強い味方伝言ダイヤルと公衆電話

2019年(令和元年)に房総半島を襲った台風15号、記憶に新しいと思います。佐倉市でも1週間以上停電が続いた地域がありました。固定電話もスマホも通じず、困った体験はありませんでしたか。そこで今回は、災害時にも使える通信手段「災害用伝言ダイヤル」と「公衆電話」についてレオくん、麦ちゃんが取材しました。



NTT 東日本/中村健一氏

古泉弘毅氏



レオくん



麦ちゃん



「わあ、いいお天気。こんな日はウチのソーラーパネルがたくさん電気を作るから、いつ停電になっても安心だね。スマホの充電もバッチリ！」



「あれっ、レオくん、電気さえあればいつでもスマホは使えると思ってる？」



「えっ、違うの？」



「違うんだな！大きな災害で長く停電が続くと、家の電話もスマホも使えなくなることがあるんだよ。」



「それは大変、どうしよう麦ちゃん。」



「固定電話もスマホも使えなくなった時の事なんて、普段考えてないだろ。でも、大きな災害でそうなった時の連絡方法って、どうしたらいいんだろう？今日はそこをしっかり知ろうと思って、NTT 東日本災害対策室の中村さんと古泉さんに来ていただいたんだ。」



「中村さん、古泉さん、色々教えてください。」



「はい。レオくん、麦ちゃんよろしくおねがいします。」



「さっそくですが、台風や大きな地震で停電すると、スマホも固定電話も使えなくなるって聞いたんですが、本当ですか？」



「麦ちゃん、本当だよ。まずスマホに電波を送っているのは、あちこちに立っているアンテナです。このアンテナのバッテリーは停電から約1日で電波が送れなくなるんだ。そうすると、スマホでの通話もLINEもネットも使えなくなってしまうよ。」



「スマホに充電ができていても使えないってこと？」



「そのとおり。それにね、コンセントを差すタイプの固定電話は停電で使えなくなるし、固定電話回線のNTT局舎のバッテリーも3日から数日しか持たないんだ。」



「それは大変！電気をを使ううちの電話も、停電で使えなくなるってことだ。」



「停電で電話が使えなくなるという事は、一大事。でも大きな災害と電話のことで覚えておいて欲しい大切なことがもう一つあるんだ。大災害が起こると、被災した人の安否を心配して家族や知人は、つい電話で確認したくなるよね。また、被災した人も自分の無事を電話で知らせたくなるものです。でも電話が一斉に集中すると、限られた電話回線が混み合って、パンク状態になってしまうんだ。」

「その上、災害時には警察や消防など命に関わる電話回線を優先するようになっているので、一般の電話は、かなり通じにくくなってしまうんだ。」



「でも、僕たちだって大切な人の安否は、一刻も早く知りたいな。どうしたらいいんですか？」



「そんな時に使ってほしいのが、【災害用伝言ダイヤル171】です。震度6以上の地震や大きな災害が発生すると、すぐに開設されます。被災地の固定電話番号や、あらかじめ家族や知人同士で取り決めた携帯電話番号を使っての声の伝言板なんです。この171に、安否を録音したり、それを聞いたりできる仕組みで、171=い・な・いと覚えてね。」



「その171って聞いたことがあります！毎月1日と15日にお試し利用ができるって聞きましたよ。」



「へ～、さすが麦ちゃん。よく勉強しているね。」



「いや、それほどでも……。実は体験できるって聞いたけど、まだ使ったことはないんですよ。使い方、簡単ですか？お隣のお年寄りも使えるかなあ？」



「もちろんだよ。いざという時に慌てないように、体験利用して練習しておけば安心だね。171にダイヤルすると、操作方法が案内されるので、そのとおりに操作すれば使えるよ。使ってみてね。災害が発生した時は沢山の人が利用することになるので、一つのメッセージの録音は30秒としています。30秒で必要なことを要領よく伝えられるように、体験練習をしておくといいよね。ひとつの番号に20件のメッセージが録音でき、いっぱいになると、古いメッセージから消されていきます。」



「なるほど、家族みんなで一度体験してみるといいんだね。」



「171は電話番号ごとに伝言を預かり、聞き合う仕組みです。171に伝言を録音したり、その伝言を再生する体験利用はぜひ、お勧めします。まず、使ってみることが、とても大切なことだよ。お正月やお盆に家族が帰省した時や、地域の防災訓練の時にみんなで試してみるといいね。」



「普段から心掛けておくのは、災害の発生に備えて、どの番号を171用に使うか家族で話し合って、連絡用に覚えておくこと、これが大切ですね」



「そう、麦ちゃん、大事なポイントだね。」

「でも、初めのお話では災害の時って固定電話もスマホも使えなくなるんですよ。どうやって、171を利用するのかなあ？」

「おっ、レオくん、いい質問だねえ。そんな災害時でも回線が優先して使えるのが【公衆電話】だよ。普段から、公衆電話が何処にあるかは、注意して見ておくといいね。災害時は10円玉やテレホンカードなしで使えるよ。他に、避難所などには【災害用公衆電話】という無料の公衆電話が設置されます。内郷周辺では、内郷小学校、佐倉東小学校、ミレニアムセンター佐倉、佐倉中学校、佐倉高校等に保管されていて、災害時に設置されます。」

「固定電話は使えなくなっても、公衆電話は通じやすいってことですね。公衆電話のある場所、散歩のついでに調べておこうと。」

「中村さん、古泉さん、災害の時に役立つ電話の色々、よくわかりました。ありがとうございました。」

「どういたしまして」

「今日のお話、おうちの人や地域の人にしっかり伝えて、体験利用してみようね、麦ちゃん。」

① 公衆電話は緊急時や災害時には無料で通話できます

公衆電話の場所

京成佐倉駅改札横
宮前1丁目と2丁目の交差点近く
岩名運動公園野球場の西側
〃 テニスコート前の通り
京成大佐倉駅前など



赤いボタン

公衆電話の使い方
に普段から慣れて
おきましょう

事件や事故を通報する110番と、消防車や救急車を呼ぶ119番は**受話器をとって、赤いボタンを押して、番号を押す**だけです。赤いボタンがない機種もありますがその場合は受話器をとって番号を押すだけです。通話料金は無料です。

※公衆電話によっては、10円硬貨やテレホンカードを入れてから番号を押すタイプもあります。

そして災害時に伝言を残せる「災害用伝言ダイヤル」の171番は、10円硬貨やテレホンカードを入れてから番号を押してください。通話料金は無料です。

② 171は体験利用できます (毎月1日と15日、正月三が日、防災週間、防災ボランティア週間)



覚えておきましょう 災害用伝言ダイヤル「171」

ご利用方法

災害用伝言ダイヤルとは、災害発生時に安否情報などが声で確認できる「声の伝言板」です。全国の一般電話、公衆電話、携帯電話から利用することができます。

伝言の録音方法

1 7 1 にダイヤル

▼ ガイダンスが流れます

録音の場合 1

▼ ガイダンスが流れます

被災地の方はご自宅の電話番号を
被災地以外の方は被災地の電話番号を
▼市外局番からダイヤルしてください
(XXX) XXX XXXX

伝言の再生方法

1 7 1 にダイヤル

▼ ガイダンスが流れます

再生の場合 2

▼ ガイダンスが流れます

被災地の方はご自宅の電話番号を
被災地以外の方は被災地の電話番号を
▼市外局番からダイヤルしてください
(XXX) XXX XXXX

※携帯番号を使つての録音、再生もできます

※インターネットを利用した災害伝言板・web171も利用できます

おぼえておいて！ 171で伝えること……【あ・い・た・い・よ】

(例)

「あ」あなたの名前をフルネームで
「い」いまいる場所は
「た」だれと一緒に
「い」いたいところはあるか
「よ」よく

たなかさくらです
今いるのは千葉駅近くです。丈夫な建物の中です。
仕事の仲間と一緒にです。
痛いところ、けがはありません。無事です。
この後、電車が動いたら家に向かいます。